

国立医薬品食品衛生研究所 概要

第147回 科学技術部会

令和8年3月17日

資料2-1

《使命》

医薬品・食品・化学物質等の人間への影響について、品質・安全性・有効性を科学的に正しく評価するための試験研究(レギュラトリーサイエンス)の実施。

《沿革》

- 明治 7年 東京司薬場として発足、わが国で最も歴史のある国立試験研究機関
- 昭和21年 世田谷移転、昭和24年に国立衛生試験所に改称
- 平成 9年 国立医薬品食品衛生研究所に改称
- 平成24年 川崎市への移転決定→ 平成27～28年度 建設工事
- 平成29年 川崎市移転

《基礎データ》

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 定員 | 201人 | 202人 | 204人 | 211人 | 219人 |
| うち研究員 | 172人 | 173人 | 175人 | 182人 | 189人 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------|--------|--------|------|------|------|
| 予算額 | 42億円※2 | 33億円※2 | 33億円 | 34億円 | 34億円 |
| うち試験研究費等 | 12億円 | 11億円 | 11億円 | 11億円 | 11億円 |

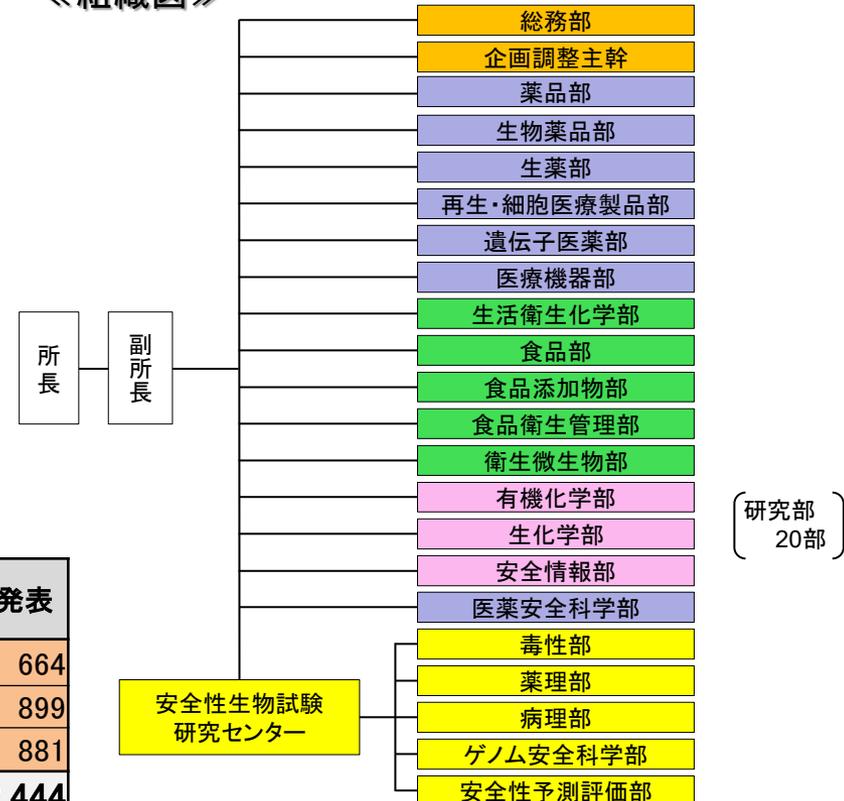
※1 その他、厚生労働本省からの試験研究費(支出委任)のほか、AMED研究費、厚生労働科学研究費及び文科省科学研究費等の補助金等(競争的資金)がある。

※2 川崎移転のための経費を含む(R3':10億円→R4':0.4億円)

《主な業務》

| 事務・事業 | 業務内容 |
|-----------|---|
| 試験・調査研究業務 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 医薬品等の品質・安全性・有効性の評価 ○ 食品中の残留農薬、食品添加物、微生物、放射性物質等の研究 ○ 化粧品、家庭用品、飲料水及び室内空気等の衛生化学的試験・研究 ○ 医薬品、食品、化学物質の安全性に関する国内外の情報収集・解析・発信、データベースの作成、国際機関との協力 ○ 実験動物、細胞等を用い、医薬品、食品・食品添加物、食品用器具・容器包装等の化学物質について、安全性及び有効性を確保するための試験・研究 等 |
| 一斉取締試験等業務 | ○ 医薬品・医療機器、食品、医薬部外品、化粧品について、薬機法等に基づく試験・検査等を実施 |

《組織図》



《主な研究等の成果》

| 年度 | 誌上发表(のべ数) | | | 単行本 | 行政報告 | 学会発表 |
|-------|-----------|-----|-------|-----|------|-------|
| | 原著 | 総説等 | 計 | | | |
| 令和3年度 | 225 | 120 | 345 | 26 | 149 | 664 |
| 令和4年度 | 273 | 136 | 409 | 34 | 305 | 899 |
| 令和5年度 | 255 | 125 | 380 | 26 | 244 | 881 |
| 合計 | 753 | 381 | 1,134 | 76 | 698 | 2,444 |